

カメラ散歩・・・彼岸花と面掛行列を撮る

日時:2014年9月18日(木) 天候:曇り 9000歩 約5km

集合:鎌倉駅西口(大時計下) 12時

コース:鎌倉駅→英勝寺→浄光明寺→八幡宮→宝戒寺→鎌倉駅(江ノ電)長谷駅→御霊神社(面掛行列)→長谷駅(解散)

参加者:小山(L) 吉越 市川 濱崎和 濱崎信 斉藤優 伊藤美 笹田 穴原 小島/一般:野田 計11名

暫く休止していたカメラ散歩が再開！今回はお彼岸を前に今盛りと咲く彼岸花と、御霊神社の珍しい「面掛行列」を撮りに鎌倉駅をスタートです。一眼レフ・コンデジとそれぞれ愛用のカメラを持って、まずは彼岸花で知られる英勝寺に到着。ところがこの日はお休みでした！そこで急遽浄光明寺の彼岸花に変更です。そこから別名「萩の寺」とも呼ばれる宝戒寺に入ると一面の萩・萩・萩。特に見事な白萩には皆さん夢中でシャッターを切っていました。御霊神社には以前のウォークで来たことがありましたが、お面を被った行列が歩く様子は、素朴ながらタイムマシーンで時代を遡ったような雰囲気漂っていました。

<フォトレポート 小島>



[宝戒寺の彼岸花]



待ち合わせの時計台下に集合です。



小山Lより本日のコース説明。



ここから英勝寺に向かいます。



花の英勝寺ですが……



何と今日は休み！リーダーがっかりです。



すでにカメラ談義が弾んでいるようで……



心なしかリーダーが小さく見えます。



浄光明寺に入ります。



さあ、ここからは皆さん自由に撮影開始。思い思いの角度で狙います。



この姿、気合が入っていますね！



こちらは構えからしてすでに名人の域！



何を狙っているのでしょうか？



教え、教えられ...



皆さん狙いが似ています。



傑作を撮るぞ！デジイチは手ブレに注意して下さい。

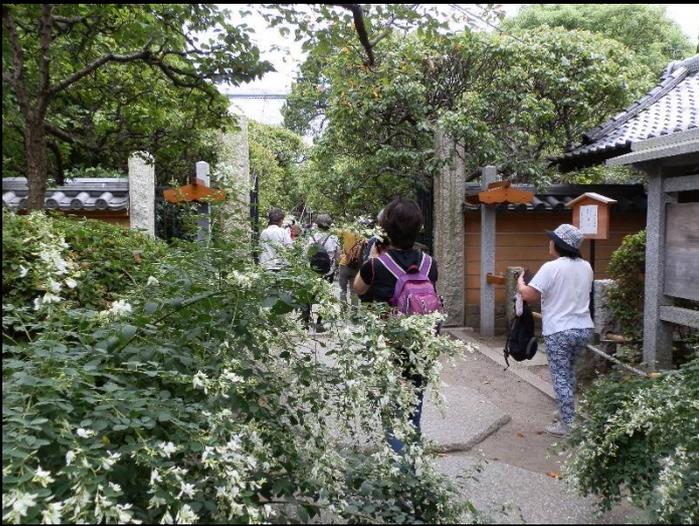


ここから次の宝戒寺へ向かいます。



“一仕事”終え、ほっとしたところ。





宝戒寺に到着。門前の萩がお出迎えです。



ここで吉越さん、一般参加の方に“アタックチャンス”！



私より花を撮ってね。(いえ、狙っていませんから…)



酔芙蓉も咲いていました。



境内には散った白萩が白米を撒いたよう…



彼岸花の赤が目に沁みます。



段葛。改修工事で暫く歩けなくなります。



車屋さんも暇なようで・・・一休みて体力温存？



鎌倉には洒落たデザインの建物が多いですね。



ここは蕎麦屋のようですが粋なつくりです。



犬とお散歩中の“鎌倉婦人”？



さあ次はいよいよ御霊神社です。



段葛の入口の赤い鳥居。



KWC お馴染みの小町通りを通過、江ノ電鎌倉駅に戻ります。





ここから長谷まで電車移動。茨城からの修学旅行生と。



おや、特等席に「撮り鉄」が？



そう言う自分も「撮り鉄」の仲間入り？！



長谷駅に到着です。面掛行列に間に合うか...



親切なのか、商魂なのか...高い近道になりそうです。



魚形のサンダルとは珍しい。



御霊神社に着きましたが、静かすぎる...



残念、面掛行列はすでに出発した後でした！



どうりで境内は閑散としているはずですが。



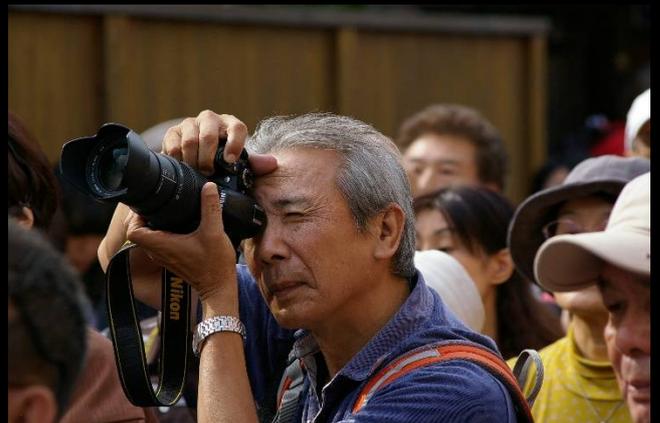
行列に追いついた。神輿を担ぐのは白装束の男衆。



前に回り込んで面掛行列を捉えたものの、人混みで思うように撮れず。



これは一番人気の「はらみ女」の面。



リーダーも“仕事”を忘れて・・・決まっていますね！



神輿の後ろをぞろぞろと。この皆さんも面掛？ いえ地です。



通過した行列はまたここに戻ってきます。



こちらでは地元のテレビ局でしょうか？



子供達も元気一杯です。終わったら何する？



女の子達も太鼓で参加。いい思い出になるでしょう。



夜こんな面が現れたら・・・怖いでしょうね。



神主さんも晴れ姿？



こちらの行列は何でしょうか。



神輿も順調に進んで・・・



沿道には見物人の列が続いています。



神輿に合わせて人々も移動です。



行列が御霊神社に帰ってきました。



ここはすぐ前を江ノ電が走る不思議な光景です。





無事行列を撮ることが出来てほっとしたリーダー。



長谷寺の前から長谷駅方面に向かいます。



アフターは全員参加。お好み焼き「染太郎」にて。



おや濱崎信さん、カメラを捨ててヘラですか？



お二人はカメラ談義に夢中ですが...



もうお好み焼きが出来ていますよ！



最後は長谷駅まで歩きここで解散となりました。今日は彼岸花と白萩に癒され、また御霊神社の面掛行列を見て撮ると、距離は短いもののカメラ散歩再開第一回目としては内容の濃いものになりました。また行く先々では平日にも拘わらず、カメラを持った多くの人々で賑わっており、ここ鎌倉の奥の深さを改めて実感した次第です。今回は女性の方もコンデジを旨く使っていたようですので、次回以降も是非また一緒に撮りましょう。なお、撮影に集中したせいか集合写真を撮るのを忘れました！（←言い訳）ハプニングの一日でしたが、小山しお疲れ様でした。